



平成 26 年 11 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社エル・シー・エーホールディングス
代表者名 代表取締役 桑田 正明
(コード：4798 東証第二部)
問合せ先 取締役 CFO 水野 進
(TEL (IR専用)：03-3539-2587)

連結子会社における資金の借入に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社 Interface（以下、Interface といいます。）は、平成 26 年 11 月 20 日付で資金の借入を行うことを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資金の借入の背景

平成26年6月16日付「第三者割当による新株式の募集並びに主要株主である筆頭株主の異動及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、当社第三者割当による新株式の募集による資金調達の一部60,000千円は、軽井沢別荘地での貸コテージ（別荘）建設費用（3棟建設予定）とし、貸コテージ建設は平成26年8月～平成27年7月の1年間で順次建設していく予定としておりました。このため、当該資金については他に流用せぬように別管理してまいりました。

しかしながら、平成26年10月31日付「当社子会社株式会社Interfaceにおける不動産事業の進捗に関するお知らせ」にて開示のとおり、当初貸コテージ事業を展開する予定にしていた土地の取得等に遅れが生じており、現時点で事業を開始できておりません。

一方、同じ第三者割当による調達資金の一部30,000千円については、第三者割当増資時の資金使途として、平成26年7月～9月の人件費の支払い及びその他諸経費（税務・監査報酬、株主名簿管理人への事務委託費、システム保守費用等）の支払いとしており、既に運転資金として支払いをしております。

10月以降の運転資金については、不動産事業の第1号案件である福岡物件の売却資金によってまかなう予定でしたが、この売却時期がずれ込んでいるため当社グループとして資金管理の見直しが必要となりました。

このような状況を踏まえ、当社グループでは、グループ資金の効率的運営のため、第三者割当による60,000千円の調達資金を担保設定し、第1号案件である福岡物件を売却するための最後の賃借人への立退料及び決済されるまでのグループの運転資金として、金融機関より借入することといたしました。

なお、従来の資金使途である貸コテージ事業について変更はなく、こちらも平成26年10月31日付「当社子会社株式会社Interfaceにおける不動産事業の進捗に関するお知らせ」にて開示のとおり、来年3月を目処に開始する予定で調整を進めております。

2. 借入内容

借入先	株式会社東日本銀行
借入金額	55,000千円
借入金利	年率1.5%

借入日	平成26年11月20日
返済期日	平成27年11月20日
返済方法	期日一括、繰上返済可能
担保状況	預金6,000万円に担保設定

3. 今後の見通し
当期の業績に与える影響は軽微であります。

以上